

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2006-512286(P2006-512286A)

【公表日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-515828(P2004-515828)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	41/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	14/705	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/12
A 6 1 K	47/18
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/48
A 6 1 P	1/04

A 6 1 P 1/18
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 9/04
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 19/00
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/02
A 6 1 P 25/04
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 31/04
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 35/02
A 6 1 P 37/00
A 6 1 P 39/00
A 6 1 P 41/00
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 0 7 K 14/705 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医薬製剤の粘度を低下させる方法であって、マンニトール、グリシン、ソルビトール、およびショ糖からなる群から選択される浸透張力調節剤を含有させることを包含し、

前記医薬製剤は界面活性剤を含み、

前記医薬製剤はTNF阻害剤を少なくとも45mg/mlの濃度で含み、

前記医薬製剤はpH4.0~5.5であり、および

浸透張力調節剤を含有する前記医薬製剤の粘度は400cP未満である、前記方法。

【請求項2】

界面活性剤がポリソルベートである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ポリソルベートがポリソルベート20である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

ポリソルベートがポリソルベート80である、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

浸透張力調節剤がショ糖である、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

浸透張力調節剤がマンニトールである、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

浸透張力調節剤がソルビトールおよび / またはグリシンである、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

医薬製剤が更にリン酸塩および / またはクエン酸塩緩衝液を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

医薬製剤が更に塩化ナトリウムを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

TNF 阻害剤がポリエチレングリコール (PEG) を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 11】

TNF 阻害剤が少なくとも 57 mg / ml の濃度である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

医薬製剤の粘度を低下させる方法であって、前記医薬製剤にマンニトールを含有させることを包含し、

前記医薬製剤はポリソルベート 80、塩化ナトリウム、リン酸ナトリウム、およびクエン酸ナトリウムを含み、

前記医薬製剤は TNF 阻害剤を少なくとも 45 mg / ml の濃度で含み、

前記医薬製剤は pH 4.0～5.5 であり、

マンニトールを含有する前記医薬製剤の粘度は 400 cP 未満である、前記方法。

【請求項 13】

医薬製剤の粘度を低下させる方法であって、前記医薬製剤にショ糖を含有させることを包含し、

前記医薬製剤はポリソルベートおよび TNF 阻害剤を少なくとも 57 mg / ml の濃度で含み、

TNF 阻害剤は PEG を含み、

前記医薬製剤は pH 4.0～5.5 であり、

ショ糖を含有する前記医薬製剤の粘度は 400 cP 未満である、前記方法。